

趣意

謹啓 慈光照護のもと、皆さまにおかれましてはご清祥にてお過ごしのこととお慶び申し上げます。

また、平素より本願寺神戸別院・兵庫教区教務所・兵庫教区教化センターの運営にご理解とご協力を賜っておりますこと誠に有り難うございます。

現・本願寺神戸別院は「阪神・淡路大震災」が発生した平成七年に旧・神戸別院の趣きを残して完成し、令和七年に築三十年を迎えることになりました。

建築後、二十年を迎える頃から、建物内の老朽化への対応のため経常的に修理を重ねてまいりました。特に平成二十五年にはトイレを洋式に改修し参拝者の利便性をはかり、平成三十年には空調設備改修工事を実施して、設備の更新と省エネルギー化を実施しました。また、館内照明のLED化も実施いたしました。

しかしながら、建物全体の老朽化が進んできましたことから、この度、外壁修復工事、屋上改修工事、地階漏水改修工事等を中心に大規模修復の事業計画を令和七年度末の完成をめざして策定するに至りました。

本願寺神戸別院の前身である善福寺は、明治四十一年に大谷尊由師を住職に迎え別格別院になり、昭和五年には日本初のインド仏教様式デザインによる鉄筋大寺院として完成しました。昭和三十五年八月に本願寺神戸別院に名称を改め、同年十月に兵庫教区教務所が併設されました。そして平成七年に現・神戸別院が完成して以降、今日にいたるまで、兵庫教区におけるご法義繁盛の中心道場としてまた、伝道教化センターとして浄土真宗のみ教えを発信してまいりました。

社会情勢が激変する中で「親鸞聖人御誕生八百五十年、立教開宗八百年」を契機に、み教えを伝える兵庫教区の教化センターとしてこれからもその使命を達成するため、何卒、「令和大修復」の趣意にご理解を賜り、事業の完遂に向けて一人でも多くの方からのご支援ご協力をくださいますよう伏してお願い申し上げます。

この度の修復工事についての概要

- 一 外壁修復工事
- 二 屋上改修工事
- 三 一階土間改修工事
- 四 地階漏水改修工事
- 五 その他



本願寺神戸別院・兵庫教区教務所・兵庫教区教化センター
改修工事建設委員会